

鋼製起伏ゲート設計要領（案）【第2版】

令和2年10月発行 B5版 総頁数 323頁

価格 7,040円（税込・送料実費）

※ 平成11年10月に発行しております、第1版の設計計算例を大幅に見直した第2版となります。

- ・ 堰・水門の計画とゲート設備の設計に携わる全ての技術者に必携
- ・ 鋼製起伏ゲートの合理的かつ標準的な設計方法の提示と設計思想の統一化
- ・ 性能規定化の流れにのった設計要領と設計計算例を掲載

【主な内容】

本要領は、鋼製起伏ゲートの大型化に対応できるようにするため、鋼製起伏ゲートの設計にあたっての設計の考え方について、設計手順を表す設計フローを示し、各設計段階で何に注意しなければならないのか、留意事項を取り入れるとともに、ダム・堰施設技術基準（案）との関連条項を整理し、かつ具体的事例、具体的な構造面での検討等を交え、設計要領としてとりまとめたものである。

第1章 総則	第3章 扉体・戸当り・駆動部の設計
1-1 目的	3-1 一般事項
1-2 適用範囲	3-2 横主桁式鋼製起伏ゲート
1-3 鋼製起伏ゲートの構成	3-3 魚腹式鋼製起伏ゲート
1-4 設計の基本	3-4 トルク軸式鋼製起伏ゲート
1-5 設備計画	第4章 油圧設備の設計
第2章 設計一般	4-1 一般事項
2-1 設計の手順	4-2 油圧装置
2-2 形式の選定	第5章 電気・制御設備の設計
2-3 基本条件	5-1 一般
2-4 設計荷重	5-2 受電設備
2-5 開閉荷重	5-3 予備発電設備
2-6 使用材料	5-4 機側操作盤
2-7 材料の許容応力度	5-5 計測設備
2-8 開閉装置用材料の安全率	参考資料
2-9 許容面圧	6. ゲート運転支援システム
2-10 たわみ度の許容値	第6章 付属施設の設計

2-11 余裕厚	1. 対象
2-12 最小板厚及び細長比	2. 設計総論
2-13 摩擦係数	3. 設計各論
2-14 塗 装	参考資料 ・ 横主桁式鋼製起伏ゲート設計計算例 ・ 魚腹式鋼製起伏ゲート設計計算例 ・ トルク軸式鋼製起伏ゲート設計計算例
11. 余裕厚	
12. 最小板厚	
13. 細長比	
14. 防食	